

令和元年度 第4回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和元年7月23日(火) 18:30~20:00

【場 所】 厚田保健センター1階多目的ホール

【出席者】 11人(14人中)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	築田 敏彦	○	委員	加藤 亞弓	○	委員	平賀 敏和	○
副会長	渡邊 教円	○	委員	河合 徳秋		委員	本吉 俊一	○
委員	東 幸子	○	委員	河合 保郎	○	委員	森田 瞳	○
委員	大内 さつき		委員	小山 玲子	○	委員	吉村 貴文	
委員	小笠原 英史	○	委員	今 光江	○		欠員	

※正副会長を除き、あいうえお順

石 狩 市 ～加藤市長

企画経済部 ～中西次長 三上主任

支 所 ～西田支所長・相原課長

地域おこし協力隊 ～今野隊員・江崎隊員・吉川隊員・飯塚隊員

事務局(地域振興課) ～高田課長・永塚主幹・佐藤主査・寺尾主査

【傍聴者】 0名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 情報交流(リラックス タイム)
 4. 審議事項
 - ・新市建設計画「合併まちづくりプラン」の計画変更及び地域自治区の設置期間延長に伴う協議について
 5. 協議事項
 - ・第7期の協議経過の振り返り～ 第7期の総括並びに第8期への引継ぎに向けて～
 6. 報告事項
 - ① 石狩市消費生活センターからのお知らせ
 - ② 厚田区地域おこし協力隊の着任について
 - ③ 厚田区地域おこし協力隊イベント案内について
 - ④ RUN伴イベントについて
 7. その他
 8. 閉会

1. 開会

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

- ・開会の前に、河合 (徳) 委員、大内委員、吉村委員の3名から欠席の連絡があったので報告する。

2. 会長挨拶

【 築田会長 】

- ・ここ最近暑い日が続いていて農家は大変な思いをしている。雨が降らないと人間の心も潤いが無くなるので少し雨が欲しいところ。今日はお忙しい中、加藤石狩市長様にお見えいただいているので、さっそくご挨拶を頂きたい。

3. 市長挨拶

【 加藤石狩市長 】

- ・地域協議会の前段にお時間を頂戴し挨拶の時間を設けていただき、会長、委員の皆様方のご協力に感謝する。
- ・6月27日に就任して約1月というところ。私自身、初めて石狩市役所に勤務して手がけた大きな業務が市町村合併。平成17年に合併して今14年目を迎えているが、是非地域の皆様方にご挨拶をしたいと、勝手ながらこういう機会を与えていただいた。
- ・ご承知のように道内では22の自治体が合併し179市町村となった。どの地域も地域協議会をもっているが、我が石狩市にある厚田区、浜益区の地域協議会は全道的に見ても、本来の合併における地域協議会の姿だと評価をいただいている。
- ・委員の皆様は、地域の課題を地域で議論するという、まちづくり参加の非常に重要な重責を担っていると思っている。厚田の場合は、従来の行政依存型からガラリと変わり、提案型という形で地域協議会で議論されており、その成果がいろいろな形、例えば、こだわり隊やアクアレール水彩画展、昨年オープンした道の駅等に現れていると考えており、改めて感謝申し上げる。
- ・皆様方の任期は9月末までだが、本日の議題は新市建設計画合併まちづくりプランの計画変更、自治区の設置延長、更には第7期の総括と次期への引継ぎ事項であるが、是非第7期を振り返っていただき、第8期へ良い形で繋げていただければ有りがたい。

【 築田会長 】

- ・只今、加藤市長のご挨拶を頂戴し、我々も協議会の必要性を再確認し更に元気が出たと思う。加藤市長はこれにて退席する。本日はお忙しい中有り難うございました。

4. 地域おこし協力隊の着任について

【 築田会長 】

- ・次第では後になっているが、先に地域おこし協力隊のニューフェイス、飯塚 諒さんから自己紹介を頂きたい。

【 (厚) 地域おこし協力隊 飯塚隊員 】

- ・7月1日から厚田区地域おこし協力隊に着任した、立教大学観光学部観光学課の飯塚 諒です。(現在休学中) 大学では地域活性化について学んでいて、その中でも商店街の活性化を専攻していた。まずはSNSによる情報発信や十字街の手伝いなど、何か携われることがあれば協力していきたいと考えているのでよろしく願います。

【 築田会長 】

- ・皆さんから何か質問などはないか。

【 東委員 】

- ・厚田は情報発信が元々少ないと感じている。例えば祭りの詳細もホームページは分かり辛い。是非SNS等でどんどん情報発信してほしい。頑張ってください。

5. 情報交流 (リラックス タイム)

- ・厚田神社例大祭について (加藤委員、今野)
- ・道の駅の賑わいについて (東委員、森田委員)

- ・子母澤寛を偲ぶ集い（江崎隊員）
- ・厚田キャンプ場のジップラインについて（佐藤主査）

6. 審議事項

新市建設計画「合併まちづくりプラン」の計画変更及び地域自治区の設置期間延長に伴う意見聴取について

【（本庁）企画課 中西次長】

資料～新市建設計画「合併まちづくりプラン」の計画変更に係る基本方針
地域自治区の期間延長に係る基本方針

- ・合併して皆でこういう「まち」にしようという考えの基、当初平成16年10月に作られ平成26年度末までの計画期間であった。法令等の改正により現在は令和2年度末までの計画となっている。
- ・旧合併特例法に基づいており、合併特例債という、返済に有利な起債の使用が可能。特例債の活用にあたっては新市建設計画「合併まちづくりプラン」が必要である。
- ・計画は地域協議会への審議事項となっているため、今般協議を依頼するものであり、今回の計画変更は熊本地震や相次ぐ大規模災害、全国的な建設需要の増大により、合併市町村の計画に盛り込まれた事業の実施に支障が出ていることから計画期間を令和7年度まで延長するものであり、本市においては令和7年度まで合併特例債の発行が出来る事になるが、活用にあたっては新市建設計画の変更が必要になるためこれに対応しようとするものである。
- ・地域自治区については当初の設置期間は10年間と定められていたが既に令和2年度まで延長されている。今回は新市建設計画の延長に伴って、それを審議する地域協議会においても存続する必要があり、設置期間を延長しようとするもの。
- ・地域振興基金についても地域協議会の審議が必要であり、これまでどおりの取り扱いとしたい。地域のために今後も有効に活用いただければと思う。

【 築田会長 】

- ・今説明があったが、以前も令和2年度までの計画変更について協議し承認しているが、それが更に延長されることになる。地域について地域住民自ら考え発言していく場が必要だということはいくらでも何回も確認しているので、この件については問題ないと思うが如何か。承認いただければ事務局と回答書を作成し提出するので承知いただきたい。

【 委員全員 】

- ・異議なしで承認。

7. 協議事項

第7期の協議経過の振り返り～第7期の総括並びに第8期への引継ぎに向けて～

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

資料～①第7期 厚田区地域協議会協議事項経過 ②第7期厚田区地域協議会の開催状況

- ・平成29年10月にスタートした第7期の地域協議会も残り2ヶ月弱。9月には第7期の総括と第8期への引継ぎ事項のまとめを提案させていただくことになる。今回はその前段として、これまでの協議経過を振り返り、委員の皆さんからご意見をいただければと思う。
- ・第7期の1回目は平成29年10月の第7回地域協議会からになる。委嘱状の交付、委員長、副委員長を選出、第7期の運営方針や方向性を確認した。以降、地域基金の活用審議、厚田区住民アンケートの実施や地域振興事業の具体的な動きの確認、道の駅オープンに向けての地域の動きの確認、地域作りの新たな展開を検討するため、座談会形式で若者と地域との関わりを進めるためのアイデアを持ち寄るなどしてきた。
- ・また、平成29年度の最終となる第12回では、次年度に向けて会議の開催頻度や今後の運営などを再確認し、基本的に月1回の開催とすることを確認した。
- ・平成30年度に入ってから、この年4月のオープンを控えた「道の駅」について、「道の駅を核とした地域振興のあり方」を数回にわたり協議してきた。
- ・8月の第5回には、第7期の折り返しを迎えるにあたり、前期の振り返りを行っている。
- ・その後、地域自治区延長の経過についての再確認や、平成31年度の地域振興事業や地域おこし協力隊制度の活用に

ついでの話し合い、地域おこし協力隊の新採用に向けた提案を協議し制度の活用を確認した。

- ・若い世代の活動のためのアイデア出しとして2回目の座談会の開催、年度の最後では住民アンケートの最終報告を受けた。
- ・平成31年度に入り、新たな地域おこし協力隊の募集に関する提案、厚田区関連事業や予算に関する報告、前回は令和2年4月開校の「厚田学園」の運営方針として決まったコミュニティ・スクールについて、先進地の事例紹介として厚田中学校長より説明を受け、地域協議会として協力していくことを確認している。以上簡単であるが振り返りとする。

【 築田会長 】

- ・今、これまでの協議経過について説明があったが、総括並びに引継ぎ事項を作成するにあたり、委員の中でこれだけは盛り込んで欲しいというようなことがあれば意見として頂戴したい。

【 渡邊副会長 】

- ・地域自治区は延長されるが、地域振興基金については当初から増えることなく期間だけが増えていく。せつかくある基金を有効的に活用するためのアイデアが必要。情報発信も含めてこの地区をどう盛り上げていくか、若い世代も含めながら8期に繋げていただきたい。

【 築田会長 】

- ・これまで若い世代をどのように地域活性化に巻き込めるか協議してきたが、地域振興基金を使って何か若い世代が取り組める、そんな良いアイデアがないだろうか。

【 渡邊副会長 】

- ・ただ若いだけではだめ。発想があつてやる気がある人でないと。例えば20代がただ数だけ並べば良いという話ではない。

【 東委員 】

- ・若い世代は結構数はいると思う。漁師や農家からリーダー的な存在の人を呼んで来たら良いのではないかな。

【 (厚) 地域おこし協力隊 飯塚隊員 】

- ・自分が言うことは正解ではないかもしれないが、例えば皆さんが子供だったとして、説明を聞いていきなり市長の前で自分の考えを述べてくださいと言われてもたぶん言えない。市長に意見を届かせるまでの仲介役、気軽に喋れる存在、つまり意見を届かせるまでの階段が必要。個人の意見よりも多数の意見になった方が届きやすいし、大勢の方が意見を言いやすい。
- ・厚田のアンケート結果のトップに厚田の生活が楽だから好き、というのがあった。例えば農業をやっているも厚田の文化等に興味がなく、単に厚田での生活が楽だから好きという人達がいる。そういった人たちは厚田について話し合いをしたい訳ではなく、応援はするけどそれが自分たちにとって大事ではないという考え。そういう人たちの意見を吸い上げられるような、仲介者的な役割の人、必ずしも若い世代である必要はないと思うので、そういう存在が必要だと思う。

【 築田会長 】

- ・若い人からの貴重な意見で目からうろこが出る思いがする。先ほど7期の説明をしていただいた佐藤主査から何かないかな。

【 佐藤主査 】

- ・協議会の中で若い世代の参画について何回か話し合いがあったと思うが、例えば今ある既存団体の取り組みにどれだけ若い世代が共感しているかが大事なことだと思う。団体の高齢化も進んでいるように感じるが、それを若い世代に引継ぐことが必要と思う。イベントの手伝いはするけど団体には入らないという人が多いと感じるし、言葉は適切でないかもしれないが、本当は先頭に立つべき存在になってもらいたいが、上手く団体に取り込めず世代交代できていないのではないかな。団体個々に良い取り組みを沢山やっていると思うが、今後活動も難しくなっていくのではと感じる。

【小笠原委員】

- ・飯塚隊員の話聞いていて、中間的な存在が必要というのが凄く良い意見と思った。自分は農協の推薦枠で選出されているが、例えば協議会の会長が基金の使い道を皆で協議するからアイデアを持ってきてくれと言えば、委員の方は役割があつて選ばれた人達なので持ち寄ると思う。これまで中々そういう流れになってこなかったのは、自分自身も反省するところ。協議会の役割が曖昧になっていると感じるので、どういう役割で集まっているのかしっかりと確認して8期に繋げるべきと思っている。

【築田会長】

- ・地域協議会の位置付けについての話だったかと思う。どのような立場で取り組んでいくのかを再確認して8期に繋げるという意見。

【平賀委員】

- ・地域の方から地域協議会は知っているが何をやっているか分からないという話をされたことがある。例えば協議内容の結果を広報に載せれば良いのでは。例えば前回は「厚田学園」について話しているが、その時どういう意見が出たか等、広く周知できれば区民にも取り組みが分かるし、今後地域協議会委員になってみたいという人も出てくるかも。
- ・若い人の参加といっても、道の駅も出来たし、夏祭りのイベントも漁協、農協の若い人たちを中心に頑張っているし、じゃ若い人は何をすれば良いのかという感じではないか。
- ・各地区の会館などは相当老朽化しているし、例えば高齢者が多いのでトイレを洋式に改修するとか基金の活用をもっと柔軟に基金を活用できないものかと最近思うところがある。

【築田会長】

- ・地域協議会のPRが足りない、基金を施設の修繕等にも活用できないかという意見だと思うが、他に意見はないか。

【森田委員】

- ・厚田に来て一番印象的だったのは(昨年9月の)地震。これだけ大きい地震というのはこれまでなかったと思う。自分は十勝出身なので地震があればすぐ逃げるタイプだが、厚田の人達はそうでもなかった。ただ2日間停電になって皆心細かったと思う。停電が解消されたとき地域の人が防災について話していて、今、防災無線は厚田で各戸に流れているが、例えば支所で携帯の充電が出来る、セイコーマートがやってる等、災害時に地域に役立つ情報を流せれば良いと思う。そういうことに基金を活用出来ないかと思った。外に流れる無線(デジタル無線)は風の影響で聞こえないこともあるので、既存の無線をもっと活用出来れば良いと思う。

【渡邊副会長】

- ・自分はコミュニティFMがあれば良いのではと考えている。高齢者は結構ラジオを聴いているし、今、地産地消エネルギーの活用方法も模索されているが、例えば道の駅でその電力を利用して開局し、地域おこし協力隊の起業として取り組めば若い人も参画してくれて良いと思うが。

【築田会長】

- ・昨年、茨城の常総市に行って来たが、そこでは小学生が毎日防災無線のアナウンスをしていてびっくりした。夕方になると小学生が「地域の皆さん、いつも子ども達の見守りをしてくれてありがとうございます。間もなく下校時間です。今日も見守りよろしくお願ひします。」というアナウンスが流れる。その他にも今こんなことが起きているのでご注意くださいといった情報も含めて子どもたちがアナウンスする。それが地域のあちこちに立てられたスピーカーから聞こえてくる。常総市は以前、洪水に見舞われる等の豪雨災害があった。
- ・今、国から流れている防災無線は風向きや天候の関係で聞こえないこともあり、個別受信の防災無線をもっと活用してはどうかという意見。

【加藤委員】

- ・地域協議会のあり方を考えると、今話されていた具体的な方策はもちろんだが、地域からの声を集めて実際に(何かしようとする時)動ける人と市役所で協力してくれる人を繋げるのが私達も本来の役割ではないかと思う。
- ・委員一人一人の想いは今この場で聞いていても沢山あるのが分かったが、いざこの場で話してくださいといってもやはり難しい。学校の授業でも全体では意見が出なくて、グループに分かれて話し合いをすると沢山の意見が出る

ということがあり、大人もそうだと思う。次回の協議テーマを予め決めて、少人数でも良いので話し合っただけで協議するのが良いのではないかと。

- ・基金の活用だと、提案した意見を全部役所の人にやってというのは地域主体にはならないのでそれは違うと思うが、実際どれぐらいの支援を期待できて、地域の個人（団体）がどれぐらいの準備をしたら良いのかというのが分かれば取り組みやすいのではないかと。

【 築田会長 】

- ・次回のテーマを知っていることによって、もっともっと協議が活性化できる、地域振興基金の活用も分かりやすい指標があれば取り組みやすいという意見。

【 本吉委員 】

- ・委員が何をしなければいけないのかがはっきり見えていないという部分がある。ただ漠然と会議に出るのではなく一人一人が意見を持ちより、例えば若い人たちを活性化させるというテーマにしても、沢山の方法を提案できるようにもっと掘り下げて纏めるということが必要だと思う。

【 築田会長 】

- ・それぞれの課題や意見をきちんと纏めるべきという意見。

【 (厚) 地域おこし協力隊 今野隊員 】

- ・地域協議会における、地域おこし協力隊の位置付けを再度確認しておきたい。初めは地域でどのような課題があるか、どんなことが起こっているかアンテナを張るために会議に出席して欲しいということであった。
- ・会議での発言は控えていた部分あったが、今後我々も思うところや提案があればどこまで発言が許されるのか分かるようにしていただければ嬉しい。

【 築田会長 】

- ・協力隊という立場でどこまで発言できるのかという意見。前回の会議で（元協力隊の）森田委員からもそのような発言があった。
- ・8期に向けての総括や引継ぎの関係はもう一回話し合うことができるか。

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

- ・次回の会議において、今日頂いた意見を盛り込み7期の総括と次期への引継ぎ事項（案）として纏め、これをベースに再度委員皆さんからご意見を頂きたいと思う。その後、9月の協議会にて最終的な総括及び引継ぎ事項として提案させて頂き、全体で確認後、7期の総括と8期への引継ぎ事項としたい。

【 築田会長 】

- ・この協議については次回も継続ということで…、今回は今日の意見を盛り込んだ纏めをベースに確認しながら委員の皆さんで纏めたて行きたいと思うのでご承知願いたい。

8. 報告事項

①石狩市消費生活センターからの情報提供について

【 (厚) 地域振興課 佐藤主査 】

- ・悪質業者による訪問販売や架空請求などのトラブルが石狩市内、そして厚田区においても報告されている。石狩市消費生活センターでは、これらを未然に防ぐための周知活動として、回覧はもちろん、高齢者等が集まる場所に直接、相談員を派遣し説明を行っており、今後厚田区内でも高齢者の集まりや保健師が行う事業に相談員を派遣して周知活動を行う予定となっているので承知願いたい。

②地域おこし協力隊の着任について

- ・飯塚隊員の着任については冒頭で説明済み

③地域おこし協力隊のイベント案内について

【（厚）地域おこし協力隊 今野隊員】

「あつた夏祭り～俺たちの2019」について

- ・日時：8/4（日）10～15時、会場：厚田総合センター前駐車場
- ・旬な厚田の農産物、海産物を用意するので是非ご来場いただきたい。
- ・8/2（金）どさん子ワイドにメンバーが出演し宣伝する。
- ・スタッフとして藤女子大の学生に協力を要請している。

【（厚）地域おこし協力隊 江崎隊員】

「星空探検隊～ペルセウス流星群」について

- ・日時：8/13（火）19～21時、会場：あいろーどパーク旧スキー場
- ・毎年この日前後はペルセウス流星群がピークを迎える。旧厚田スキー場は草刈等きちんと管理されているが、活用が余りないので、厚田から見える素晴らしい星空、流星群の観察会を企画した。お盆次期ではあるが是非参加していただきたい。

「あいろーどパーク自然観察会」について

- ・日時：8/20（火）10～12時、会場：厚田キャンプ場駐車場集合
- ・厚田キャンプ場を流れる川にホタルがいる。今回は日中なので見ることはできないが、それらの説明もして厚田の魅力を発信したい。

④RUN伴イベント案内について

【（厚）地域振興課 寺尾主査】

「RUN伴」イベント周知について

- ・日時：7/26（金）8：45 石狩翔陽高校スタート、16：30 道の駅石狩「あいろーど厚田」ゴール
- ・認知症への理解を深めるために、当事者及び家族、支援者、地域の関係者等が少しずつリレーをしながら目的地まで走りゴールするイベントで、全国様々な場所で行われており、石狩市でも数年前から市内の社会福祉法人が中心となり実行委員会を組織し開催。
- ・これまでは旧石狩市側で行われていたが、厚田区内を走り道の駅をゴールに目指したい、又地域おこし協力隊も一緒にランナーとして走っていただきたいオファーがあり参加することとした。
- ・道の駅でのゴールの際、協力隊の今野隊員が歌で迎えるセレモニーがある。委員の方々も沿道での応援をお願いしたい。

9. その他

○次回の日程について

令和元年8月27日（火）18時30分～ 望来コミュニティセンターみなくる

令和元年8月27日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長

菊田 敏彦